

横浜市政記者会 発表

2024年1月11日
附属病院総務課
附属市民総合医療センター総務課

横浜市立大学附属2病院から能登半島地震に対する 災害医療支援チーム（DMAT）を派遣

令和6年1月1日16時10分に発生した「令和6年能登半島地震」について、石川県からDMATの派遣要請が関東ブロック（本県含む）にありました。これを受け横浜市立大学では附属2病院からDMATを現地に派遣します。

なお、附属市民総合医療センター（以下、センター病院。）では、本日17時よりDMAT隊の出発式を行います。

1 派遣先・派遣期間

活動拠点となる、石川県珠洲市保健医療福祉調整本部（珠洲市健康増進センター）に1月12日（金）日没を目処に参集し、17日（水）まで（予定）被災地にて災害医療支援活動を行います。

2 派遣職員

・附属病院

医師2名、看護師1名、業務調整員1名^{*1}（合計4名）
（*1 臨床工学技士1名）

・附属市民総合医療センター

医師2名、看護師2名、業務調整員2名^{*2}（合計6名）
（*2 放射線技師1名、救急救命士1名）



派遣予定のセンター病院ドクターカー

3. 出発式

附属病院 令和6年1月11日（木）14時30分～ 救急外来前

センター病院 令和6年1月11日（木）17時～ 救急棟通用口前

※センター病院での出発式の取材をご希望の際は、広報課へご連絡ください。

附属市民総合医療センター 高度救命救急センター 竹内 一郎センター長のコメント

能登半島地震の医療支援のために横浜市大では2隊のDMATを被災地に派遣します。日頃から救急現場での経験に富んだDMAT隊員たちです。現地でもしっかり急性期医療から福祉のニーズ汲み取り、被災者の方々に寄り添った支援をしてくれると期待しています。横浜市大としては、石川県庁本部の運営なども含めて様々な分野で、地元医療体制の復興まで支援してまいります。

附属病院のチームは本日 14 時半に出発式を行い、能登半島の活動拠点に向けて出発しました。



附属病院から派遣する DMAT 4 名

≪災害派遣医療チーム DMAT (Disaster Medical Assistance Team) とは≫

医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多数傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね 48 時間以内）から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

【参考】厚生労働省 DMAT 事務局ホームページ <http://www.dmat.jp/>



DMAT ユニフォーム



横浜市立大学は、
様々な取り組みを
通じてSDGsの達成
を目指します。

